

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	法学部
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. カリキュラム等の教育内容についての不断の適切な見直しを可能にする教育組織のあり方を検討する。	→ 「研究室会議とコース会議との検討項目ごとの連携状況」「TA数と学習相談処理件数」	B
2. 学術の進展や社会的要請に対応できる教育内容の実現のための教育研究組織のあり方を検討する。	→ 「実務家講師数と担当科目数」「日本人ないし外国人の客員教員招聘数」	B
3. 教員と学生の組織である「法政学会」の一層の活性化のための方策を検討する。	→ 「法政学会活性化のための検討状況」	C
4. 教育研究組織の妥当性をチェックする仕組みを構築する。	→ 「外部講師との意見交換会の開催状況・意見交換の内容」	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

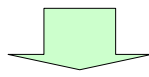
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目4.0.1	(現状説明) 学部カリキュラムの検討組織であるカリキュラム委員会による課題設定に対応して、学部内の研究室会議ないしコース会議が問題の検討を行い、各検討結果をカリキュラム委員会での検討に反映させている。
☆ 小項目4.0.2	(現状説明) 現在の研究教育組織については、大枠において教育理念や実施目標の実現に寄与できる適切なものであるとの認識のもとに、個別具体的な科目設定や担当者等の決定に教育理念や実施目標を反映できるように配慮を行っている。
☆ その他	

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	2003年度よりカリキュラム委員会の構成メンバーを研究室所属教員だけでなく、各コースの代表も加えた「拡大」カリキュラム委員会の形態をとることで、教育理念に副ったカリキュラム検討の実効性を確保している。
その他	



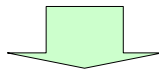
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	2003年度より導入されたコース制の下で、各コースに所属する教員から成る各コース会議における課題設定を恒常化し、開催頻度を増やす等でより活発化させ、カリキュラム委員会での検討をより効果的なものにする。
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目4.0.1	各研究室およびコース会議による積極的な課題設定。TA(Teaching Assistant)その他の補助的教育スタッフの活用促進。
★小項目4.0.2	教育研究組織についての外部実務家教員による外部チェックの促進。教員、学生共同の研究組織である法政学会の活性化のための検討。
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目4.0.1	2012年度のカリキュラム改訂以降、TAその他、一層必要となる補助的教育スタッフの確保の方策を確立する。
★小項目4.0.2	2010年度中に法政学会活性化のための方策を検討し、2011年度以降実施に移す。
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

## 【学外委員】

○教育内容の改善等のための教育研究組織の検討が着実に行われています。外部実務家教員による協力体制、法政学会の活性化が期待されます。

## 【学内委員】

○小項目4.0.1は適性であるかを聞いています。現状説明ではこれについて記述してください。

○小項目4.0.2は定期的検証を聞いています。現状説明ではこのことが分かりません。

○目標の1、2、3はいずれも「検討する」ことになっています。早急に、検討結果をまとめ実施に移すことを期待します。

○取り組みが進捗中であると判断されます。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★小項目4.0.1と4.0.2の現状説明を入れ替える。

## Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

--	--

<個別的な指標>

--	--